

■前回第 5 回交通会議での主な意見とその対応

第 5 回の主な意見	その対応
<p>○市民アンケートでは、バスは 9 割の人は使わないと言っている。本当に困っている人を救うには、タクシーをうまく使った対応策が考えられる。総合連携計画の現況整理の中で、タクシーについて触れていない。</p> <p>○バスの利用が難しい地域でそれに替わるものは何か、それはタクシーとなるので、タクシーの動向の分析がない。</p>	<p>○タクシーを公共交通と位置付け、移動支援として高齢者タクシーチケット配布事業を行っている。事業実績について整理した。</p> <p>(Ⅱ交通インフラ、3で追記)</p>
<p>○将来像について、「子どもや高齢者」、「地域で創り」の考え方は賛成。弱者を助けるのは大事なことだと思う。元気な高齢者が多いため、その方々がボランティアとして積極的に参加できるような事を組み込んでほしい。</p>	<p>○ボランティアの活用を見据えたいため、関連サービスの中で位置づけた。</p>
<p>○タクシーは機動性があり取り組みやすい。高齢者の外出支援について 3 割引きのチケットを配布しているが、これは画期的な仕組みだ。現状の取組みを有効活用できるような内容にさせていただくのがベストではないかと感じる。</p>	<p>○関連サービスの中で、高齢者割引タクシーチケット配布事業を位置付ける</p>
<p>○公共交通を維持するには、営利ベースでは成り立たない。アンケートを通して維持には 1 億円かかっていることを理解いただけたと考える。</p> <p>○新たな仕組みを導入するには時間がかかるため、既存ストックを有効活用することを考えるべき。</p> <p>○2 万人の交通空白地居住者がターゲットになっている。元々空白地だった所と採算性から空白地になった所もあり、歴史や経緯が異なる。空白地を一括りにせず、それぞれの地域にあったモードを整理した方が良い。</p>	<p>○空白地解消のための実験的取り組みの中で、当該地域の歴史的経緯に配慮し、適切なサービス方法を選択することを明記した。</p>
<p>○地域が中心にやれることをやり、出来ないことを支援してもらおうという方向でいかなければ地域内が活性化せず、良くはない。この書き方でかまわない。</p>	<p>○地域に委ねるだけとはせず、モデル地域以外にも自治会区長会長等を通して、先行情報を発信しながら働きかけを行うことを明記した。</p>
<p>○大きな方針は困っている人に対応するということだが、どのようにやっていくのか。</p> <p>まちづくりの観点として、観光をうまく使いながら、市外からくる方への公共交通を作り、併せて通学手段を確保する。またそれを進める仕組みをどのように考えるかを基本方針として打ち出した方が良い。</p>	<p>○基本方針、取り組み、進め方の構成に再編し、指摘の点を基本方針として設定した。</p>
<p>○基本方針に沿って進めていくことで、地域の方々がどのような生活ができるのか、それを目標値として打ち出した方が良い。(目標値はできるだけ数値目標により設定すべき)</p>	<p>○基本方針を達成するための「目標値」を設定した。</p>
<p>○蒲郡は観光地であり、観光客もお見えになる。市民の方にとって良い公共交通を考えていきながら、市外から蒲郡にお越しいただいた方の交通のことも考えていただきたい。</p>	<p>○基本目標のなかで、来訪者への配慮を明記。</p>
<p>○第 6 章の⑤⑥の表現は難しい。</p> <p>○PDCA、MM等、表現が難しい。わかりやすい言葉にして欲しい。</p>	<p>○できるだけ簡便な表現に変更。最後の用語解説をまとめた。</p>

第5回会議後における主な意見	その対応
<p>○現況整理のまとめとして基本方針につながるエッセンスが整理される必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PT調査は蒲郡市の状況を言及する。 ・9つの鉄道駅が存在する恵まれた点を強調すべき。 ・市の地形、交通インフラの配置から、山側の課題を明確にすべき。 ・本当に困っている人＝交通空白地の解消なのか？ ・バスと鉄道の乗り継ぎがあまり見られない点は、なぜなのか。今後何を検討すべきか触れておくべき。 ・タクシーについて触れるべき。タクシーの活用が大きな要素。 ・鉄道に関する課題も必要ではないか。 	<p>○指摘の点について原則対応。</p>
<p>○「基本方針」と「取り組み」は分けて整理すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は、本当に困っている人への対応、通勤通学や観光等への対応、それを支えていく仕組みといった項目が基本方針となるべき。 ・対応方針は、各モードの位置づけや必要となる具体的な対応内容を示すべき。 ・2段階で進めるという点は、単なる進め方で、基本方針に盛り込むべきではない。 	<p>○指摘を踏まえ、基本方針、取り組み、進め方の構成に再編した。</p>
<p>○本当に困っている人への対応について、その役割を担う部分が支線的バス・タクシーというカテゴリで良いか。</p>	<p>○交通空白部分を支線的バス・タクシーでカバーしつつ、その他関連サービスとして、高齢者割引タクシーチケット配布事業等で市全域カバーするように位置付ける。</p>
<p>○困っている人への対応という目玉方針を、地域の協議組織が設置されることを条件としているが、それを地域に委ねることはどうか。</p>	<p>※前述</p>
<p>○MMを打ち出しているが、そもそも市民の9割は使わない。公共交通中心の生活転換という切り出し方は工夫が必要。</p>	<p>○公共交通中心の生活転換まではハードルが高いため、公共交通の利用を促す働きかけとし、具体的な活動イメージを追記した。</p>
<p>○鉄道（名鉄西尾・蒲郡線）の現状実態についてふれるべき</p>	<p>○名鉄西尾・蒲郡線の状況を整理した。</p>
<p>○免許保有状況について盛り込むべき</p>	<p>○第5回会議資料を盛り込んだ。</p>
<p>○交通ネットワークシステムのモード別のサービス内容・対応方向性に加え、サービスレベル・事業イメージを具体的に示すべき。</p>	<p>○事業案（サービスレベル等）の項目を追加した。</p>
<p>○計画に基づく事業（案）について、具体的な活動内容が分かるように示すべき。また、スケジュールとの連動も配慮すべき。</p>	<p>○計画に基づく事業（案）とスケジュールを再考した。</p>